

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	消化器内科 Panitumumab + CPT-11療法		臨床区分 ☒ 日常診療 ☐ 単施設自主研究 ☐ 他施設自主研究 ☐ 市販後臨床研究 ☐ 治験	抗癌剤適応分類 ☒ 進行・再発化学療法 ☐ 術後化学療法 ☐ 術前化学療法 ☐ 局所療法 ☐ その他	登録日	2013年1月4日	
疾患名	大腸癌				1クール期間	14日	
診療科名	消化器内科					実施回数	/回
登録医師名	豊川 達也						

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
2	グラニセトロン点滴静注液3mgバック デキサート注射液 6.6mg	1 1.5	袋 瓶	点滴静注	側管	30min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	生理食塩液 ベクティビックス点滴静注	100 6	mL mg/kg	点滴静注	側管	60min※	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1)投与終了後1時間は、経過観察すること 2)インラインフィルターを使用すること
4	生理食塩液 イリノテカン塩酸塩点滴静注液	500 150	mL mg/m2	点滴静注	側管	90min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5																	

備考欄
※生理食塩液で希釈後の点滴溶液中の本剤の最終濃度は10mg/mLを超えないこと。本剤は、60分以上かけて点滴静注すること。ただし、1回投与量として1,000mgを超える場合は、日局生理食塩液で希釈し約150mLとし、90分以上かけて点滴静注すること。

文献
Chibaudel B, et al:ASCO 2011
化学療法のレジメン講座（消化器癌治療の広場）

減量・中止基準